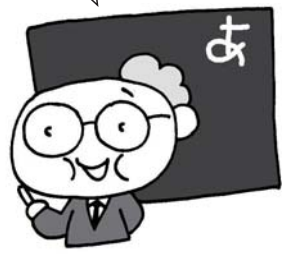


科目：国語	分野：接続語
1 ／ 3	(四年生)

●はってん学習のテーマ●

言葉と言葉、文と文をつなぐ言葉の使い方を覚えよう。

文章の流れや筆者の伝えたいことを読み取るためには、**接続語**に注目し、**接続語**がその前後の言葉や文をどのような関係でつないでいるかを考えることじゃ。
接続語の働きを覚えると、文章の読み取りがぐんと楽になるぞよ。
 次の七つの**接続語**の種類を覚えておくのじゃ。



◆**接続語七種類**

① **順接**↓**接続語**の前後を**理由**↓**原因**の関係でつなぐ。
 順接の**接続語** だから・したがって・それで・すると・そこで

② **逆接**↓**接続語**の前後が**反対の意味**になるような関係でつなぐ。
 逆接の**接続語** しかし・けれども・ところが・でも

※ **逆接の接続語の後の言葉や文がとても大事!**

③ **並立**↓**接続語**の前後が仲間であることを表す。
 並立の**接続語** また・ならびに・および

④ **添加**↓**接続語**の前後が新しいことがらを付け加える働き。
 添加の**接続語** そして・そのうえ・さらに・しかも・それに

⑤ **説明**↓**接続語**の前後がくわしくする働き。
 説明の**接続語** つまり・すなわち・たとえば・なぜなら

⑥ **選択**↓**接続語**の前後がらと後のことがらのどちらかであることを表す。
 選択の**接続語** それとも・あるいは・または

⑦ **転換**↓**接続語**の前後がら話題をかえて、次の話題に進むことを表す。
 転換の**接続語** さて・ところで・では・それでは